

が、29年には164団体10,121人、1億円を越す売り上げとなり、この事業の経済効果は、まち全体で4億円を越すとの事でありました。

受け入れ農家からの評判も良く、農業を手伝う人手としてありがたい時もある、生活の良い刺激になるなど、受け入れて良かったという声がほとんどの事でありました。

担当者からは「農泊を推進する上で重要なことは、ギブアンドテイクのアンドになる人が居ないと始まらない。飽きの来ないサービスの提供を続けるためには、自らの足でまちの情報を集め、しっかり体験していく事が大事」との事でした。

本市においても農泊事業推進に向けた取り組みを始めたところではありますが、ぜひ、人と人をつなぐ「アンド」になれる人材を確保し、タテ割りの社会構造を乗り越えて、横のつながりによって農泊事業が推進されることを期待するものであります。

最後に、川場村であります。

川場村は、みなかみ町の南東部に隣接し、利根川をはじめとする4本の一級河川が村内に流れる人口約3千3百人の村であります。

川場温泉など5つの温泉が村を潤すとともに、基幹産業である農業はこんにゃく、米、果樹が中心に栽培されております。その2つの強みを生かし、川場村では「農業プラス観光」の施策を推し進めております。

川場村では、「川場田園プラザ」について、観光協会の担当者から説明を受け、現地の視察を実施しました。